令和元年度通常総会議事録

NPO 法人大分県芸術文化振興会議

1　日時　　令和元年 6 月 12 日(水)　15:00～16:00

2　会場　　ホルトホール大分　大会議室

3　総会成立宣言

正会員数　　261 名（団体会員 150 名・個人会員 111 名）

実出席者数　　71 名

書面出席者数　　78 名

合計　　149 名

4　審議事項

第 1 号議案　平成 30 年度事業報告

第 2 号議案　平成 30 年度決算報告及び監査報告

第 3 号議案　令和元年度事業計画

第 4 号議案　令和元年度活動予算書

第 5 号議案　役員報酬

第 6 号議案　その他

5　議事の経過の内容及び議決の結果

○議長選任　　正会員　華道家元池坊大分支部長　大塚　タカ子　氏を選任。

○議事録署名人選任

NPO 法人大分県芸術文化振興会議理事長　戸口　勝司　氏

正会員　個人会員　野仲　矢山　　氏

正会員　歌曲の会　田島　安有美　氏　を　選任。

○書記の指名　事務局　池田リエ

(1)第1号議案　平成30年度事業報告

第2号議案　平成30年度決算報告及び監査報告

（議長）　第1号議案　平成30年度事業報告、第２号議案　平成30度決算報告及び監査報告は、関連がありますので、一括上程とします。事務局から説明願います。また、監査報告は、事務局の説明後、続いて報告してください。

（事務局）　第１号議案の平成３０年度の事業報告ですが、２の事業の実施に関する事項の主なものについて説明します。

①　大分県内芸術文化団体の連絡提携事業

・県内文化団体に関する情報収集並びに活動状況の把握については、昨年

の５月に芸振加盟の地域文化団体との情報交換会を実施し、秋に開催される国民文化祭等の関連行事をはじめ各種意見交換をしました。
また、昨年度は評議員の改選年度で、今までは地域文化団体から１団体だけ評議員になっていたが、２団体から評議員になってもらうこととし、臼杵市文化連盟と宇佐市文化協会から評議員を出すこととしました。

・文化を語る夕べは、12 月 12 日に 213 名が出席、ホテル日航大分オアシスタワーで開催しました。アンサンブル「みどりのそよ風」の永見姉妹のピアノデュオによるウエルカムコンサートで始まり、海外派遣研修報告として昨年度オーストリア、ドイツに学んだ久多良木則子さんにクラリネットの演奏を披露していただきました。

② 芸術文化事業の企画実施及び人材育成事業

・文化キャラバンは、上の５件は芸振の予算で実施したものです。その下の「芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会による実施」分は、県において国の委託費を受け入れて実施した分です。小中学校を中心に計４９会場で実施し、１２千人以上の子どもたちが鑑賞しました。本事業は NPO 法人としてのかなめの事業であり、ご協力いただいた団体会員に感謝します。

・芸振文化事業については、昨年度は、国民文化祭関連事業への対応で忙しく、芸振独自の自主事業に取り組む余裕はありませんでした。

・大分県民芸術文化祭実行委員会事務については、昨年度は第２０回の節目の県民芸術文化祭については、規模を拡大して県主導のもと国民文化祭として実施することとなったため、事務局業務としては、国文祭の期間に実施できなかった県美展のみを県民芸術文化祭事業として支援したほか、国民文化祭等のプレイベント、応援事業の期間に併せて参加行事の募集を行いました。また、県民芸術文化祭の過去 20 年間の歩みをまとめたリーフレットを作成し、国民文化祭のオープニングなどで配布しました。県民芸術文化祭の行事数は２０８行事、１１万８千人の方が直接行事に参加し、２６万５千人が鑑賞しました。

・国民文化祭フィナーレステージ開催事務は、芸振加盟の団体会員を中心にフィナーレステージ「大分の山々巡行」を実施しました。作曲家の大島みちる氏が作曲した音楽を元に、日本舞踊家の藤間蘭黄氏に台本作成・振付指導をしていただき、実施しました。大分の自然をバックに、能、洋舞踊、日本舞踊、長唄、民踊、詩吟、合唱などの団体の皆様が出演し、素晴らしい舞台だったと高い評価を得ました。

・海外研修事業は、８月から約１ヶ月久多良木則子さんがオーストリア、ドイツに学んだものです。

③ 芸術文化団体の推進援助事業

・補助事業は、昨年度は４９団体に計１，６４５千円を交付しました。

・文化行事の後援は２２５事業を後援しました。

・県立美術館企画展の前売チケット販売については、「日展」、「アート＆デザインの大茶会」「人間高山辰雄展」、「日本モダンの精華展」「国宝、日本の美をめぐる展」「現代アートの宝箱」の６つの企画展の前売りチケットを取扱、合計１，９１５枚、１６６千円の手数料収入がありました。協力していただいた会員に感謝します。

・「首藤コレクション顕彰大分県推進協議会」事務は、事務局としての役割を果したものです。

・推奨品事業は、収益確保策の一つとして、販売益を活動資金の一部として加盟団体並びに芸振に還元するもので、平成２５年度から取り組んでいるものです。

④ 芸術文化活動関係資料の収集・調査研究及び機関紙等の情報発信事業

・文化年鑑、機関紙の発行、ＨＰのデータベース更新を行いました。

次に、第2号議案の平成３０年度の決算報告ですが、まず活動計算書の主な項目について説明します。

（経常収益）

・受取会費・入会金のうち正会員受取会費の団体分２，８０８千円については１５２団体の会費収入です。次の個人会費の３４８千円は１１６人分です。団体個人とも会員数はほぼ横ばいです。

・賛助会員受取会費の団体分３４５千円は１口５，０００円で加入していただくものですが、４０団体、６９口の加入となっています。ご協力を頂いている企業名については芸振のホームページに掲載しています。個人分は２人に加入していただいています。

・交流会受取会費１，６２１千円は、文化を語る夕べの会費です。

・受取助成金５，６７２千円は県からの補助金で変動はありません。

・事業収益ですが、企画実施事業収益の４，３６３千円は、国民文化祭フィナーレ実行委員会からの収入が３，９６０千円、県民芸術文化祭実行委員会からの収入が４０２千円です。

・推進援助事業収益２１０千円は、県立美術館のチケット販売収入と推奨品の販売手数料収入等で、２９年度とほぼ同額です。

・情報発信事業収益の３４０千円は文化年鑑への広告掲載収入です。

・その他収益の雑収入の主なものは、加盟団体によるコピー機使用料収入、首藤コレクション顕彰推進協議会の事務費、償却済みの団体会費収入等です。

以上の経常収益合計が１５，８６１千円となり、２９年度より３７９千

円ほど減収となっています。その理由は、事業収益の中の企画実施事業収益の減によるものですが、自主事業がない場合の例年の収入と比較すれば、多い方です。

（経常費用）

・人件費は事業費に85%、管理費に15%と按分計上、総額で７，７８０千円となっており、２９年度より５１千円ほど増えています。

・事業費のその他経費については、負担金・助成金１，６６０千円は、主に団体への補助金です。

・諸謝金５５９千円は文化キャラバンと文化を語る夕べで支払いしたものです。

・印刷製本費８３４千円は、文化年鑑、機関紙、文化を語る夕べのプログラム代です。

・会議費１，４０６千円は、文化を語る夕べのパーティ費用です。

・旅費交通費３２３千円は、昨年度は、今後の活動の参考にしてもらうため、理事の皆さんに県内各地で開催された国民文化祭行事の視察に要した費用のほか、文化キャラバンや九州沖縄連絡会議に要した費用です。

・研修費の３００千円は海外派遣研修費です。

・支払手数料２２８千円はHP管理料や振込手数料です。

・次に管理費のその他経費の主なものですが、印刷製本費１４２千円は、総会資料代、封筒印刷代のほか、国民文化祭のPR用としてロゴマークを印刷した名刺を役員分作成したものです。

・旅費交通費４１８千円は役員、評議員等の会議旅費です。

・通信運搬費２７４千円は電話、インターネット接続料、日本郵便切手・はがき等です。

・消耗品費２６４千円は、コピー機使用料、消耗品購入代等です。２９年度はパソコンの更新がありましたが、それが無くなったため、４８５千円の減額となっています。

・水道光熱水費は少し増えています。地代家賃は県の財産管理台帳更新による減額がありました。

・賃借料については、昨年度の途中でコピー機のリース契約の更新を行い、これまで消耗品費と賃借料に分かれていた経費が賃借料に一本化されました。したがって、賃借料が昨年度より１７１千円増額となりましたが、その分消耗品費が減額されており、差引５千円程度の増額となりました。

・支払手数料５５２千円は会計事務所顧問料（５１８千円）と会費振込料です。

・雑費８８千円は清掃料（６０千円）と慶弔費等です。

・経常費用の合計は１５，８９５千円となり昨年度より１９８千円の増となりました。

・その結果、経常収益と差引して当期経常増減額が３３千円の赤字となりました。

・法人税・住民税及び事業税として７１千円を計上し、最終的に１０４千円の赤字決算となりました。赤字となった大きな要因としては、収入面では、事業収益が少し減少し、経常費用が昨年度より 200 千円ほど増加したことによるものです。

前期からの繰越正味財産額が８２９千円ありましたので、最終的な次期繰越正味財産額は７２４千円となりました。

（財産目録）

・資産、負債の状況ですが、財産目録で説明します。まず資産の部ですが、流動資産の内の未収金についてですが、正会員団体１３５千円の内訳は、２９年度会費１団体、３０年度会費６団体ですが、すでに２９年度分は入金済み、３０年度分の内４団体は入金済みで、残りの２団体も確実に入金できる予定です。個人会費６千円の未収ですが、３０年度分であり、１名はすでに入金済みで残りの１名については今後お願いしてまいりたいと考えています。

次年度経費前払 211 千円は、事務局の家賃と総会会場使用料です。

・負債の部については、未払い金は３月に発生した費用であり、すべて４月に支払い完了しています。前受金１，２６５千円は、平成３１年度、令和元年度分の会費です。その他も特に問題となる負債はありません。

第１号議案、第２号議案については以上です。

（監事）　監事２名が平成 30 年６月２日、会計及び会計以外の業務について、監査を行ったので報告します。

監査の方法

・会計監査のため、帳簿、書類を閲覧し、必要と思われる事項は理事長からの報告を求めるなど、合理的な方法で調査した。

・会計以外の業務執行については、機関紙の内容による把握や理事長から業務執行の報告を求めるなど必要な方法で調査した。

会計意見

・会計諸表は会計帳簿の記載と合致し、決定及び定款に従い団体の財産状況を正しく示していると認める。

・理事の職務執行に関する不正行為、又は法令若しくは定款に違反する行為等については、指摘すべき事項はないと認める。

以上、報告します。

（議長）　只今の説明について質疑等ありましたらお願いします。

特に質疑等がないようですので、只今の提案を承認される方は拍手をお願いします。（拍手）賛成多数により原案のとおり承認とします。

(2) 第３号議案 令和元年度事業計画

第４号議案 令和元年度活動予算書

（議長） 次に第３号議案 令和元年度事業計画、第４号議案 令和元年度活動予算書について事務局から一括説明願います。

（事務局） 第３号議案 令和元年度事業計画ですが、主なものについて説明します。

① 連絡提携事業

・文化を語る夕べについては今年も開催します。会員が一同に会する数少ない機会ですので多くの方に呼びかけてご出席ください。

② 芸術文化事業の企画実施及び人材育成

・文化キャラバンは、芸振の予算で行う分は上の４件です。

・その下の芸術文化を通した青少年健全育成事業実行委員会の分は今年も県が国の委託事業を受け入れ、５１件実施することとしています。

・大分県民芸術文化祭実行委員会事務は、事務局として関与するものです。昨年度の国民文化祭等の成果を踏まえて見直しが行われた結果、今年度から３年間国民文化祭のレガシー枠が設けられ、予算の増額、レガシー枠の負担率も３分の２と高く設定されています。今年の募集は終わりましたが来年度以降も継続するので、積極的に応募してください

・ラグビーワールドカップファンゾーンイベント協力については、９月２０日から１１月２日までの間の１５日間、大分駅南いこいの道広場でファンゾーンが開設され、パブリックビューイングやステージイベントなどが催されますが、県担当課から、海外から来県するお客様に芸振加盟団体の伝統芸能を披露して欲しいとの要請がありました。今後どのような形で要請に応えていくか、検討を行った上、関係団体の皆様に協力をお願いして参りたいと考えています。

・芸振文化事業については、今後の芸振の運営に関する様々な課題を検討するため、昨年の１２月に理事会の中に企画部会を設け、優先的に処理しなければならない課題を中心に検討を行ってまいりました。

その中で、平成２７年に実施した「芸振総合フェスティバル」については、団体会員へのアンケートでも希望が多かったこと、国民文化祭の感動や今後の取組への意欲が薄れないうちに芸振独自の取組をすべきではないかということで、理事会の議決を踏まえて「芸振フェスティバル」の実施について検討していくこととしました。今後、検討が進み、具体的になっていく過程で、団体会員の皆様にご相談やご協力をお願いすることになります。

・海外派遣研修事業については、４月２４日から５月８日まで、大分二期会所属の新見準平氏がオランダのデン・ハーグに研修に行きました。総会前の事業であることから事前に理事会の議決を得て実施しました。

③ 芸術文化団体の事業の推進援助事業

・補助事業については、今年度も５１団体と希望件数が多いことと、総額で１８００千円前後を目安としたことから、配分基準は昨年度同様、県単位のア団体は４０千円、ア団体に準ずるイ団体は３０千円、その他のウ団体は２５千円、節目の記念・周年事業についても、昨年度と同様、ア団体が７０千円、イ団体が６０千円、ウ団体が５０千円としています。今年は周年・記念事業が１２団体と数多くなっています。

・県立美術館の企画展のチケット販売については、今年も取り組みます。本日「ムーミン展」のチラシと申込用紙を配布しています。また、FAXで申し込みできますので是非利用してください。

・推奨品事業は今年も取り組むこととしています。市販されているものより３割近く安く購入出来ますし、芸振のみならず団体会員にも斡旋手数料が入りますので是非ご利用下さい。

④ 芸術文化団体の調査研究情報発信事業

・文化年鑑、機関紙の発行、HP、データベースの更新は例年どおり行います。また、県民の皆様に芸振の周知を図るための新たな広報活動について検討を行うこととしています。

次に第４号議案　令和元年度活動計算書についてですが、主なものを説明説明します。

経常収益

・受取会費の内、正会員の団体は１５０団体で２，７７８千円です。個人会員は１１１名の３３３千円。賛助会員は団体が４１社で３５０千円、個人が２名で１５千円となっています。交流会受取会費は文化を語る夕べの会費です。

・受取補助金は変更ありません。

・事業収益ですが、企画事業収益４，２００千円は、県民芸術文化祭の事務費を４，０００千円、ラグビーワールドカップのファンゾーンイベントへの協力に関する委託事務費として２００千円計上しています。次の推進援助事業収益２００千円は推奨品で５０千円、チケット収入で１５０千円を計上しています。情報発信事業収益３５０千円は文化年鑑掲載の広告料収入です。

・その他収益の雑収入１０千円は、コピー機の使用料収入を計上しています。

・経常収益の合計として１５，５０９千円計上しています。

経常費用

・人件費は昨年度と同様、按分により事業費で８５％、管理費で１５％計上しています。金額は前年度決算より３１０千円減額しています。

・事業費のその他経費ですが、負担・助成金１，７９０千円は団体補助金で

す。諸謝金５３０千円は文化キャラバンと文化を語る夕べに要する経費です。印刷製本費８５０千円は文化年鑑、文化を語る夕べのプログラム、広告掲載料などです。会議費１，３３８千円は文化を語る夕べ、九州沖縄連絡会議費用です。旅費交通費２００千円は、九州沖縄連絡会議、文化キャラバン、加盟団体の活動支援などの経費です。保険料２０千円は、文化キャラバンの団体保険料です。研修費３００千円は海外派遣研修費です。支払い手数料２４０千円はHP管理料、振込手数料です。事業費のその他経費の合計は５，４４５千円で、人件費を含んだ事業費は１１，５９５千円です。

・管理費のその他の経費ですが、印刷製本費１００千円は総会資料と封筒代、会議費１５千円は総会のお茶代、旅費交通費３５０千円は、役員会、評議員会の開催経費です。昨年度の途中からコピー機の使用料を一括賃借料として支払うことになったため、消耗品費は１００千円に減額、賃借料を７００千円と増額計上しています。

・以下の経費は例年並みに計上しています。

・経常費用の合計は、昨年度決算より４５７千円減額し、１５，４３８千円と見込み、当期経常増減額が７１千円、法人税、住民税及び事業税として７１千円を引いた当期正味財産増減額をゼロとし、前期繰越額７２４千円を次期繰越正味財産額と見込みました。今年度も、大きな収益事業を見込んでいませんので、予算執行に当たっては、赤字とならないよう留意してまいりたい。第３号議案、第４号議案については以上です。

（議長）　只今の説明について質疑等ありましたらお願いします。

特に質疑等がないようですので、只今の提案を承認される方は拍手をお願いします。（拍手）賛成多数により原案のとおり承認とします。

(3) 第５号議案　役員報酬について

（議長）　第５号議案について、事務局から説明願います。

（事務局）役員報酬については、例年どおり無報酬とするものです。

（議長）　只今の説明について質疑等ありましたらお願いします。

特に質疑等がないようですので、只今の提案を承認される方は拍手をお願いします。（拍手）賛成多数により原案のとおり承認とします。

(4) 第６号議案　その他

（議長）　執行部からは特に提案がありません。会員のみなさんからこの機会に話しておきたいことがあれば発言して下さい。

特にないようですので、以上で本日の議事はすべて終了しました。

6　議事録署名人の選任に関する事項

NPO 法人大分県芸術文化振興会議理事長　戸口　勝司

正会員　個人会員　野仲　矢山

正会員　歌曲の会　田島　安有美

7　出席役員

理事　戸口　勝司　恒川　睦子　阿部　正義　池部　俊之　伊勢　方信

裏　正恒　清末　典子　工藤　紘喜　後藤　智江　佐藤　教明

柴田　朿　永見　政子　羽田野　修　松井　猛

監事　宮本　修

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和元年 6 月 12 日

議　　長　華道家元池坊大分支部　大塚タカヨ

議事録署名人　理事長　戸口勝司

議事録署名人　個人会員　野仲矢山

議事録署名人　歌曲の会　田島安有美